

おかしき 議会だより

令和7年2月1日発行

vol.

226

2025

12月
定例会



- P02 一般質問
- P11 主な議案
- P12 委員会審査
- P13 討論
- P14 審議結果
- P16 3月定例会予定 他

(表紙写真の説明は裏表紙をご覧ください)

更に詳しい情報は
岡崎市議会HPへ



一般質問

12月定例会では、29人の議員が市政について質問しました。なお、本紙では、太字の質問項目から掲載しています。より詳しい内容や他の項目については、市議会HPで公開している議会映像をご覧ください。

一般質問の掲載原稿は、発言に基づき質問議員が作成しています。

本多勝（無所属）

- ・健康おかさき21計画
 - ・学校給食における飲用牛乳
- ## 中根 善明（無所属・日本共産党岡崎市議員）
- ・給食の無償化
 - ・18歳までの医療費無料化
 - ・教職員・保育士の待遇改善

前田 麗子（自民清風会）

- ・地域内交通
- ・環境教育

神谷 茂樹（自民清風会）

- ・準用河川六斗目川
- ・交通環境の整備
- ・職場のハラスメント対策

加藤 史朗（無所属）

- ・中山間地域活性化
 - ・岩津のまちづくり
- ## 酒井 正一（自民清風会）
- ・アウトレットを核としたまちづくり
 - ・土地区画整理事業

伊藤 正義（無所属・参政党）

- ・新型コロナウイルスの接種と副反応

鈴木 雅子（無所属・日本共産党岡崎市議員）

- ・市長の政治姿勢
 - ・会計年度任用職員の給与
- ## 白井 正樹（民政クラブ）
- ・健康寿命の延伸
 - ・2026年アジア競技大会・アジアパラ競技大会

小田 高之（チャレンジ岡崎）

- ・人口減少社会における計画
- ## 荻野 秀範（自民清風会）
- ・市街化調整区域の集落維持
 - ・市街化調整区域の遊休農地
 - ・小規模特認校

原 紀彦（民政クラブ）

- ・災害時避難行動要支援者
- ## 福田 澄代（チャレンジ岡崎）
- ・相談支援専門員の不足
 - ・矢作地区の地域内交通

金山 直樹（自民清風会）

- ・都市計画道路若松線
- ・六ツ美地域内交通

野島 さつき（公明党）

- ・妊娠前から乳児期の子育て家庭支援
 - ・文化芸術施策
- ## 瀬戸 清太郎（民政クラブ）
- ・消防団員の負担軽減
 - ・災害時における対応

土谷 直樹（公明党）

- ・孤独・孤立対策
- ・脱炭素に向けた取組

野々山 雄一郎（自民清風会）

- ・資源リサイクルの見える化
 - ・身寄りのない高齢者の終活支援
- ## 野本 篤（自民清風会）
- ・選挙
 - ・環境に関する補助金

杉山 智騎（チャレンジ岡崎）

- ・水害対策
- ・子ども医療費助成

鈴木 英樹（民政クラブ）

- ・地域防災計画
- ・小中学校屋内運動場への空調設備の設置

田口 正夫（自民清風会）

- ・1級河川鹿乗川の整備
- ・放課後児童対策
- ・子ども医療費の助成
- ・学校給食費の無償化

佐藤 哲朗（民政クラブ）

- ・地域活動
 - ・企業の人手不足
- ## 三浦 康宏（無所属）
- ・スポーツ施設の現状と今後

磯部 亮次（自民清風会）

- ・市長の政治姿勢
 - ・行政経営
- ## 加藤 嘉哉（民政クラブ）
- ・本市の公共交通政策

蜂須賀 一郎（自民清風会）

- ・愛知環状鉄道
- ・防災

鈴木 静男（自民清風会）

- ・岡崎東インターチェンジ周辺のみちづくり

柴田 敏光（民政クラブ）

- ・都市計画道路岡崎環状線
- ・職員の働き方改革

一般質問とは

・議案とは別に、事務の執行状況や将来の方針など、市政全般についての報告や説明を求め、疑問を問いたすものです。
 ・岡崎市議会では6、9、12月定例会で行っています。

今定例会では、一般質問を行った全ての議員が一問一答方式により質問しました。



本多 勝 (無所属)

(1)健康おかさぎ21
 (2)学校給食の飲用牛乳

問 (1)第2次計画の最終評価で、健康寿命の延伸や健康格差の縮小に関する指標が改善をしたものの、目標達成には至らなかった。この現状に対し、本市の見解は。

答 主観的な健康観や幸福感は一定の評価ができるが、食生活や運動の分野で悪化した指標が多かったため、次期計画では重点的に取り組む必要がある。

問 (2)小中学校の給食における飲用牛乳の年間廃棄量は。

答 令和5年度は、全小中学校に約605万本の牛乳を提供したが、飲まずに返却された牛乳は約27万本であった。

問 食品ロスの削減、個別の体質等を考慮し、東京都多摩市のような選択制の導入を提案するが、本市の見解は。

答 限られた予算で、牛乳に頼らない献立づくりが、質・量ともに困難であるため、牛乳の選択制導入は、現状考えていない。



中根 善明 (無所属 日本共産党 岡崎市議団)

学校給食の無償化

問 学校給食の無償化を実現するまでのスケジュールは。

答 市全体の財政状況を踏まえ、質・量ともに、より良い給食の提供を前提に検討していきたい。

問 市長の選挙ピラやポスターに16歳までの給食の無償化と書かれているが、これは高校生まで無償化するという意味か。

答 6年11月の市長定例記者会見において、市長から、16歳は誤植であり、正しくは15歳であると説明している。

問 給食にオーガニック食材を取り入れていと思うが、給食の無償化が実現した後も継続していくものと考えてよいか。

答 オーガニック給食の提供には、有機農産物の価格や流通確保などの課題が解決されること重要である。6年度は、有機ジャガイモを使用した給食を提供できた。今後もオーガニック給食の提供に向けて検討を続けていく。



前田 麗子 (自民清風会)

矢作デマンドの現状と地域内交通導入の手引

問 実証運行の開始から丸2年となるが、現在の利用状況は。

答 1日に8時間運行し、利用者の平均は多い月でも16人前後である。特に午前中の利用が多く、午後には2時間から1人程度となるため、6年4月から午後運行を1台に変更している。

問 6年6月に公表した地域内交通導入の手引の概要は。

答 地域の公共交通は、少子高齢化や利用者の減少等により、交通事業者のみでのサービス確保や維持が年々難しくなっている。手引では、まずは地域で検討協議会を立ち上げて、よく話し合ってからまとめてもらい、次の段階で運行計画を取りまとめ、実証運行を行うこととしている。そこで、様々な問題が浮き彫りになってくるため、地域の事情を踏まえ、検討協議会が中心となり、交通事業者と市も連携しながら、運行計画の検証や見直しをしていきたい。



(1)六斗目川の改修
(2)美合駅の利便性向上
神谷 茂樹（自民清風会）

問 (1)六斗目川の今後の改修計画は。

答 乙川との合流地点から上流の約80%の区間は未改修であり、今後、計画されている乙川の改修との整合を図る必要がある。県との調整をより深めながら、当該区間の改修を進めていく。

問 (2)交通結節点である美合駅が平日の昼間のみ駅員を配置する特殊勤務駅となった。利用者や周辺住民は、交通広場を設置するなど使いやすくなることを望んでおり、利便性を向上させるための環境整備が必要であると考えますが、本市の施策は。

答 美合駅周辺は、地域別構想の将来像で、都市機能の集積や良好な居住環境づくりを進めるエリアになっている。地域目標の一つである美合駅周辺の生活利便性の向上を目指すため、交通結節点の強化、公共交通の利便性向上を図りたいと考えている。



(1)中山間地域活性化
(2)岩津のまちづくり
加藤 史朗（無所属）

問 (1)旧岡崎市の中山間地域において地区別計画の策定が進まない理由は。

答 当地域は都市計画上の市街化調整区域であり、環境等を保全し、市街化を抑制するため、建築や開発行為を制限しており、都市計画区域外の地域と比べ、多くの内容を地域の人々で議論しなければならぬ。市としては、継続的に理解促進を図っていく。

問 (2)岩津地域の住民は岩津センターの整備に合わせたまちづくりを期待を寄せている。施設整備には多額の事業費を要し、国庫補助も必要と考えるが、想定メニューと活用に応じた課題は。

答 国土交通省の都市構造再編集中支援事業がある。活用に当たっては、地域課題を明らかにし、整備計画だけでなく、エリアで物事を考え、課題解決のため一つの手法としての施設整備であることを位置付ける必要がある。



アウトレットを核としたまちづくり
酒井 正一（自民清風会）

問 (仮称)岡崎本宿駅西土地区画整理事業の概要と雨水対策は。また東消防署本宿出張所の緊急車両の出動時の対応は。

答 アウトレット事業に隣接した区域に計画しており、面積は約16・6ヘクタール、事業期間は令和6年度から10年間、総事業費は84億1000万円、地区全体の平均減歩率は56・72%である。雨水対策としては、本事業が市街化区域へ編入して行う事業であることから、もともと市街化区域である場合より大きな調整池の設置が県の基準で定められているため、区域内に約9800立方メートルの容量の調整池を設置する計画である。

問 また、東消防署本宿出張所については、東側に区画道路を配置し、市道池金本宿線へ接続する信号交差点への誘導や他の区画道路へ接続することにより、渋滞した場合でも周辺地区への緊急出動が可能となる道路配置を計画している。



新型コロナワクチンの接種と副反応
伊藤 正義（無所属 参政党）

問 本市の新型コロナワクチンの接種による副反応疑い報告件数及びその年代と主な症状は。

答 6年3月末時点の累計で73件の報告があり、年代は、10代が12件、20代が15件、30代が14件、40代が12件、50代が9件、60代が4件、70代が4件、80代が3件である。主な症状としては発熱、倦怠感、じんましんである。

問 本市における予防接種健康被害救済制度に基づく国への進達件数及び審査結果件数は。

答 6年11月末時点の進達件数は39件で、このうち国から審査結果が通知されたのは、死亡例も含め31件である。

問 本市のホームページに、副反応等について、より分かりやすく記載することは可能か。

答 接種券に注意事項を記載した案内文を同封しているが、ホームページでも分かりやすい内容となるように努めていく。

※1 旧岡崎市：平成18年1月に岡崎市と額田郡額田町が合併する前の岡崎市の区域
※2 減歩率：区画整理などで換地処分が行われた際の、処分前の土地面積に対する処分後の面積の割合



旧統一協会との関係
鈴木 雅子 (無所属 日本共産党 岡崎市議員)

問 市長は、2022年5月に開かれた、愛知県平和大使協議会が主催し、世界平和連合愛知県連合が共催する大会に参加し、その際に、平和大使に任命をされたのか。

答 市長の任命を受けていなかった時期に知人に誘われて参加したが、指摘の団体が主催とは知らなかった。

問 世界平和連合が旧統一協会関連団体であるとの認識はなかったのか。

答 深い理解はなかった。

問 旧統一協会が勧誘活動や宣伝に政治家とのつながりを利用することで、新たな被害につながる恐れがあることを、公職者として肝に銘じなければならぬ。今後一切、旧統一協会と関係を持たないか。

答 社会的問題が指摘されている団体とは、これまでどおり関係を持たず、適切に対応したい。



(1)健康寿命(2)アジア競技大会・アジアパラ競技大会
白井 正樹 (民政クラブ)

問 (1)健康寿命を延ばすためには歩くことが効果的だが、歩くことを促すための本市の取り組みは。

答 クアオルト健康教室の実施や、学生と連携し市内ウォーキングマップを作成している。更に、各小学校区に15分から50分程度で歩ける距離のウォーキングコースを設定することに取り組んでおり、日常の散歩コースとして活用できるものとなっている。

問 (2)2026年アジア競技大会・アジアパラ競技大会の庁内の推進体制は。

答 競技大会を地域の活性化に生かす取り組みなどを本格化させるために、両副市長を本部長、副本部長とし、更に、スポーツはもとより、地域経済、観光、交通、市民活動、国際交流、情報発信などを所管する関係部長を本部長とする推進本部を令和6年12月中旬に立ち上げる準備を進めている。



人口減少社会の都市計画マスタープランの見直し
小田 高之 (チャレンジ岡崎)

問 都市計画マスタープランは、2025年に中間見直しとなるが、どのように行っていくのか。

答 都市計画マスタープランは3年に策定され、おおむね5年が経過する7年に、現行計画の進捗状況について、地域別構想で定める施策の達成状況や課題などを確認し、社会情勢などの変化に対応した見直しを行うこととしている。本市の人口や世帯数の推移、工業や商業などの産業規模の推移や、新たな土地利用の必要性などを把握した上で、総合計画を始めとした、市役所内の関係各課が所管する計画と整合を図りながら、中間見直しを行っていく。見直しを行う際には、都市計画審議会や学識経験者、産業・まちづくり関係団体、市民代表で構成する、外部有識者会議である都市計画マスタープラン策定委員会に諮り、意見を聴きながら実施していく。



(1)市街化調整区域の集落維持(2)小規模特認校の拡大
荻野 秀範 (自民清風会)

問 (1)集落維持制度の区域設定要件の中に50戸連たんの条件があり、この要件では制度を活用できる区域が限られる。この制度を有効に活用するための方策を検討できないか。

答 6年4月に制度の運用を開始してからまだ間がない状況であり、地元の取り組みをサポートする中で課題を明らかにし、その課題が集約できた段階で、50戸という規模も含めて制度が円滑に進むように検討する。

問 (2)小規模特認校制度を中学校にも拡大していくべきと考えるが、本市の考えは。

答 本市においても、生徒数が減少していくことを考えると、中学校においても小規模特認校制度を活用することや、義務教育学校の設置についても検討する時期が近づいていると考えている。





災害時避難行動
要支援者
原 紀彦 (民政クラブ)

問 避難行動要支援者制度に登録されているなどの要配慮者

であつても、まずは市が開設することだが、要配慮者と明確に分かつていれば、直接、福祉避難所へ避難する方が望ましいのでは。

答 今年度、指定福祉避難所の指定に向けて検討を進めており、直接避難することについても、施設管理者と協議を行つていきたいと考えている。

問 福祉避難所設置・運営マニュアルを現実的な運営に沿つたものに見直すべきでは。

答 マニュアルは、運営上必要となる受け入れ者の調整や費用弁償、物資の支援などについての基本的な流れや手続き、各種様式を定めたものとなっている。今後、施設側の意見も聴きながら、実際の運営についてイメージをしやすしよう、マニュアルの充実に向けた見直しを検討していく。



(1)障がい相談支援専門員の不足(2)矢作デマンド
福田 澄代 (チャレンジ岡崎)

問 (1)相談支援専門員の人数及びセルフプラン率の動向と相談支援専門員の増加への支援策は。

答 令和4年度から6年度までに相談支援専門員は43人から52人へ9人増加しており、セルフプラン率はわずかだが減少傾向にあるが、県内では高い値となっている。支援策としては相談支援従事者初任者研修受講補助制度と計画相談支援事業利用推進助成制度がある。こうした支援制度の検証も含め、相談支援専門員の不足を補うため、どのような施策を行えるのかを引き続き検討していく。

問 (2)矢作デマンドの利用人数が活動目標に達していないが、理由を調査したのか。

答 調査したことはないが矢作デマンド推進会議では、「予約が面倒」「行きたいところに停留所がない」等の声を聞いている。地域からの要望があれば、地域と一緒に調査内容を検討したい。



(1)都市計画道路若松線(2)チョイソコおかざき
金山 直樹 (自民清風会)

問 (1)若松線の整備状況と今後の見通しは。

答 岡崎駅南土地地区画整理事業区域内とその東側の県道岡崎碧南線までの第一工区は供用開始済みであり、東海道本線との交差点を含む県道岡崎幸田線までの第二工区は、19年度の供用開始を目指している。また、占部川から西側の整備は、第二工区の事業完了を見据えた上で、事業化の判断をしていく。

問 (2)チョイソコおかざきの現状と今後の取り組みは。

答 6年4月より本格運行を開始したが、稼働率を除き、乗合率や収支率等は、運行継続基準を満たしている。今後は、地区の協議会等が主体となり、六ツ美中部の周辺学区を加えるなどの検討を進めていく意向があると聞いているため、市としても、課題や専門的な相談への対応などについてサポートを行っていく。



(1)子育て支援(2)コミュニティアート
野島 さつき (公明党)

問 (1)産前産後ホームヘルプサービスについて、母子健康手帳の交付時にクーポンを配付する仕組みや、二子目以降は3歳まで支援が受けられるなど他市の制度の導入も必要と考えるが、見解は。

答 アンケート調査からヘルパー利用に一定のニーズがあると捉えている。更に役立つ制度となるように見直しを進めたい。

問 (2)世界に目を向けつつ、本市を拠点としてアートに取り組む仲間と、本市の中で何かできないかと考えている意欲ある若きアーティストの活用について、本市の見解は。

答 市と若い世代の芸術家との接点やコミュニケーションが不足している。まずは本市での芸術活動やまちづくり、豊かな自然環境等に関心のある若い世代の芸術家との出会いやコミュニケーションを深める人的交流やネットワークづくりに注力していきたい。



(1)消防団の負担軽減
(2)防災ポータル
瀬戸 清太郎 (民政クラブ)

問 (1)消防団員の意見・要望を踏まえた火災出動体制の見直しと熱中症対策についての見解は。

答 消防団長等を対象としたアンケート結果を基に、令和7年4月1日から出動体制を見直し、建物・林野火災で消防団の放水が必要な場合とする。また、火災発生と鎮火の情報は全消防団員にメールを送信する。熱中症対策として、長時間の活動が想定される場合、現場指揮本部に用意する飲料水やミスト扇風機を活用してもらう。

問 (2)防災ポータルへのペット同行避難や多言語での避難所一覧の表記が未実施だが、見解は。

答 現在は人命最優先のためペット同行は掲載していないが、ペット同行避難図上訓練の結果を踏まえ、周知方法を改善していく。避難所の多言語表記は、多言語防災チェックガイドを今年度に更新し、言語数を6言語に増やした上で、避難所も紹介する予定である。



(1)孤独・孤立対策
(2)脱炭素に向けた取組
土谷 直樹 (公明党)

問 (1)国は孤独・孤立の問題について「つながりサポーター」の養成に取り組んでいるが、本市のつながりづくりのサポートは。

答 ポッドキャスト「こどくのあわい」の配信も取り組みの一つである。孤独・孤立対策官民連携プラットフォームにより、地域の様々な活動団体同士の交流が広がることで、人と人とのつながりを実感できる地域づくりを推進したい。

問 (2)宅配ボックス購入費補助制度は、再配達を不要にすることで地球温暖化対策等の効果があり、持続可能な社会の実現に向けた取り組みである。ふるさと納税や寄付金を活用した補助事業の再実施と拡充についての考えは。

答 市民に好評であった省エネ家電やLED照明、宅配ボックスなど、生活様式の変化に合わせた購入費の補助事業について、財源の確保に努め、研究していく。



(1)資源リサイクルの今後
(2)高齢者の終活支援
野々山 雄一郎 (自民清風会)

問 (1)リサイクル処理は、焼却処理よりもコストが掛かる。

答 財源の減少や環境行政以外の需要も増えていく中で、今後のリサイクル施策をどう展開していくのか。

問 (2)身寄りの無い高齢者が元気なうちに準備しておくことはあるか。また、当事者の周りにはあるか。また、当事者の周りにはあるか。また、当事者の周りにはあるか。

答 心身の機能や判断能力が衰えてから終末期医療や死後事務まで決めることは難しい。終活ノートや終活便利帳、相続ガイドブックを活用し、最期まで自分らしく歩むために終活を進めておくことが大切である。また、家族等だけに頼るのではなく、地域で支え合う在り方を考える必要がある。



見せる選挙公報、聞こえる選挙公報
野本 篤 (自民清風会)

問 選挙公報は見せることを目的に作成されているが、視覚障がいのある有権者に対してはどのように情報提供されているのか。

答 市長・市議選においては、立候補者の任意により提出された、音声読み上げ対応用の選挙公報を、選挙管理委員会のホームページに掲載している。また、ポランティアによる音声版公報CDを作成し、配付を行っている。

問 これまでの見せる選挙公報に併せて、音声専用の選挙公報の実施を研究してみてもどうかと考えるが、本市の見解は。

答 選挙の候補者に新たなデータの作成を課すものであり、国政選挙や県の選挙など他の選挙との兼ね合いもあるので難しいところだが、その必要性や他市の状況も参考にしながら、音声による選挙公報の作成について、今後研究していく。

※ポッドキャスト：インターネット上で配信されている音声コンテンツを視聴するサービス



高校生世代の
通院医療費無償化
杉山 智騎 (チャレンジ岡崎)

問 令和6年9月議会会で要望決議が出されたことへの対応は。

答 8年1月の事業開始に向けて、対象拡大のために必要なシステム改修、受給者証の印字封入封緘など、外部へ委託する業務のスケジュールの再検討や調整を行った。6年9月の時点では、まずシステム改修を行い、その後、受給者証の印字封入封緘に取り掛かる予定だったが、検討の結果、それらを並行して行っても支障がないことが分かったため、今後とも状況に応じた準備を行っていく。

問 7年3月議会会で当初予算に計上する考えは。

答 6年9月議会会において提出された要望決議の中で、「7年3月定例会において必要な予算を計上し再度議案を提出すること」とある。現在、7年度当初予算に必要な予算を計上しているが、まだ予算編成中であり、確定できていない段階である。



(1)地域防災計画(2)中学校
屋内運動場の空調設置
鈴木 英樹 (民政クラブ)

問 (1)今後、様々な複合災害への対応を検討する考えは。

答 発生原因が異なる複数の災害リスクに対応するため、現在取り組んでいる目標管理型災害対応の定着を進めるための訓練を引き続き行う中で、複合災害による被害想定などを取り入れ、対策を進める必要があると考えている。

問 (2)整備スケジュールと避難所機能についての考えは。

答 7年度から8年度にかけて全20校への設置を予定している。発注に必要な要求水準書などを準備し、7年3月定例会に提出する予定である。その議決後に、速やかに入札を行った後に、落札者を決定し、仮契約を行い、7年9月定例会に工事請負議案を提出する予定である。その議決後に本契約を締結し、8年度末の工事完成を予定している。また、災害時も、空調設備が運転可能となる整備を予定している。



(1)児童育成センター
(2)子ども医療費の助成
田口 正夫 (自民清風会)

問 (1)矢作東学区に公設の児童育成センターを設置する考えは。

答 新たな児童育成センターの整備などを検討する目安として、おがききつ子育てプランでは受け入れの不足量が30人以上としている。矢作東学区は該当せず設置の予定はないが、引き続き児童数の推移等に留意していく。

問 (2)子ども医療費の助成を高校生世代の通院まで拡大するための、今後の課題や施策は。

答 県内の他自治体との格差が生じないように配慮し、近隣市町の動向を見極める必要があることと、医療費が年々増加傾向にある中で、本市の財政状況等を踏まえ、施策の内容についてあらゆる手法の検討が必要な点が課題である。本施策が子育て世代の経済的な負担軽減につながり、本市に住んで良かったと実感できる支援となるように取り組んでいく。



(1)地域活動
(2)企業の人手不足
佐藤 哲朗 (民政クラブ)

問 (1)町内会、子ども会、老人クラブなどの地域活動では、きめ細かいコミュニケーションにより、お互いに支え合う必要があると考えるが、本市の見解は。

答 地域には子どもや高齢者など大勢が暮らしており、人々の生き方が多様になった今、地域のつながりも多様な在り方が求められる。今後も福祉に限らずあらゆる分野の活動を人々のつながりをつくる機会と考え、地域共生社会の実現に向けて取り組んでいく。

問 (2)本市の人手不足の対策は。

答 大学生等を対象とした就職フェアを西三河6市をエリアとして開催する等、学生と企業のマッチングの場を設けている。また、労働者の労働意欲向上に向けた福利厚生事業の実施や、連合愛知、労働者福祉協議会の支援により、賃金アップや労働環境の改善に力を入れ、労働者が長く働きたいと思える気持ちを醸成していく。



龍北総合運動場サッカー・ラグビー場の照明施設整備

三浦 康宏（無所属）

問 昨今の長期にわたる暑さへの対策からも、夜間に天然芝や人工芝のグラウンドを利用できるようにすることは大きなメリットと考えるが、**照明の設置について、本市の見解は。**

答 龍北総合運動場は、県からの移管後に大規模な施設の整備や改修を経て、令和2年度にリニューアルオープンした施設である。現在は施設運営の第一期として、16年度までの15年間で、リニューアルに要した施設建設費の償還を含めた施設の着実な運営を第一の課題として、日々取り組んでいる。一方で、その歳月の間に様々な環境やニーズ等の変化が生じるため、それらへの対応が第二期に向けた課題となる。照明の設置についても、夜間利用の充実という視点で、必要性や優先度を整理する必要はあるが、第二期に向けた課題の一つとして捉えていく。



市長の政治姿勢

磯部 亮次（自民清風会）

問 これからの4年間で市長が**目指す政治姿勢と具体的な内容は。**

答 目指す岡崎は、子どもたちの笑顔があふれ、自らのふるさと・岡崎に対し、これまで以上に大きな愛情と誇りを持てる「夢ある新しい岡崎」の実現である。その実現に向け、「岡崎再生」をビジョンとして、「歴史と未来が調和するまちづくり」や「地域の声を大切にしまちづくり」を着実に進めていきたいと考えている。具体的には、高校生までの通院医療費の無償化の速やかな実施や、給食費の無料化では、限りある財源を踏まえ、現状に1カ月分でも加えられるよう検討し、おいしさや栄養面の充実への要望にも応えていく。また、額田地区では、スポーツ施設等の民活による整備を進めたい。持続可能な自治体であり続けるため、地域活性化を面

で広げることが重要と考えている。



本市の公共交通政策

加藤 嘉哉（民政クラブ）

問 地域交通法に基づく法定計画である「**地域公共交通計画**」の改定時期は。

答 現計画の計画期間が4年度から8年度の5年間であるため、改定時期は8年度末を予定している。

問 **次期計画に対する本市の考えは。**

答 次期計画は、シンプルな論理構成と一貫性のある目標を設定し、機動力のある内容にした。データの活用による課題発見を迅速化し、都市や地域の目指す姿を定め、5年後の計画実現の際に地域の暮らしや観光がどう変わるかを具体的に示していきたい。

問 **公共交通に関する組織体制を強化する考えはあるか。**

答 公共交通の喫緊の課題にスピード感を持って対応するため、専門課の新設や組織体制の拡充、強化は必須と感じている。また、人材の育成にも努めていく。



愛知環状鉄道駅のバリアフリー化と駅周辺の整備計画

蜂須賀 一郎（自民清風会）

問 大門駅のエレベーターやトイレ等のバリアフリー化の予定と、**駅周辺の整備計画は。**

答 愛知環状鉄道の経営状況が厳しいため、バリアフリー化の中心となるエレベーターの設置をすぐに行うのは難しい状況であり、トイレについても調整が必要である。また、駅周辺の整備としては、自転車330台、原動機付自転車が42台を収容できる暫定の駐輪場を整備するほか、駅のすぐ西を南北に走る市道の交差点に右折帯を設置する予定である。

問 **中岡崎駅で実施されるバリアフリー化事業の内容と今後のスケジュールは。**

答 エレベーター及びバリアフリーの設置などが検討されている。8年度から関係機関との協議や調整を図りながら、早ければ、9年度から工事に着手される予定である。



岡崎東一C周辺の
まちづくり
鈴木 静男（自民清風会）

問 地区拠点の生活基盤として、いわゆるドラッグストアの店舗ができるように規制緩和をすべしと考えるが、本市の考えは。

答 都市計画マスタープランにおいて地区拠点とした地域で、特別に立地基準の緩和を行うのであれば、規模等を慎重に検討する必要がある。今後の人口減少化における地域のまちづくりに大きな影響が想定されるため、関係部局と十分に調整し、全国の事例研究と併せて検討したい。

問 産業立地誘導地区である原新田地区へ、先行投資として道路整備を行う考えはないか。

答 現時点では、市による道路整備を新たに行う計画はないが、企業の市外流出抑制や企業誘致の促進を見極めつつ、費用対効果や民間主体の土地活用機の運の高まりなども踏まえ、民間活力と併せ、適宜整備の要否について検討していく。



都市計画道路
岡崎環状線
柴田 敏光（民政クラブ）

問 岡崎環状線の整備の状況は。

答 国道1号から岡崎西尾線までの約440㍍を1工区として先行整備する予定で、平成27年に事業認可を取得し、補助金を活用しながら事業に着手している。

問 今後、どこから着手して工事を進めていく予定か。

答 朝日町3丁目交差点を中心とした東西約280㍍の区間において、国道1号の上下線に右折レーンを設置するとともに、交差点南側の一部区間について、岡崎環状線の道路と電線共同溝を整備することから始める予定である。

問 国道1号の交差点改良工事の着手時期及び岡崎西尾線までの完了予定の時期は。

答 交差点改良工事の着手時期は、国が実施する電線共同溝の工事との調整により、令和8年度を目標と考えている。岡崎西尾線までの完了予定時期については、現段階での回答は難しい。

市議会ウェブページ

市議会の活動をご覧いただけます。

詳しくは、岡崎市ウェブサイトのトップページから「市議会」をクリックするか、**岡崎市議会** で検索してください。



主な議案

本会議で提出された議案の説明を受けました。審議結果は、14・15ページに掲載しています。

条例議案

■**手数料条例の一部改正／建築物**
のエネルギー消費性能の向上に関する法律（建築物省エネ法）の一部改正に伴い、手数料の額を改定する。

■**市産材調達管理基金条例の一部改正**
／市産材の利用を一層促進するため、基金の原資金を積み増す。

■**駐車施設条例の一部改正**
／駐車場整備地区における駐車需給バランスの適正化を図り、歩行者中心の快適な交通環境を創出するため、附置義務台数の算出基準等を改める。

■**消防団条例の一部改正**
／消防団員の処遇改善を図るため、出勤手当を費用弁償から出勤報酬に改めるとともにその額を改める。

その他議案

■**水道事業給水条例の一部改正**
／水道法施行令及び水道法施行規則の一部改正に伴い、布設工事監督者等の資格要件を改め、及び水道施設の適切な更新等を行い、持続可能な水道事業の経営を確保するため、水道料金の額を改める。

■**工事請負の契約（シビックセンター改修工事他2件）**
／シビックセンター改修工事（週休2日）、中央総合公園野球場受変電設備改修工事及び岡崎駅西口駅前広場シェルター設置工事（週休2日）の契約を行う。

■**模範造林組合の解散に関する協議**
／模範造林組合の解散について協議する。

■**模範造林組合規約の一部変更に関する協議**
／模範造林組合の解散に伴い、事務の承継団体を定めることについて協議する。

■**模範造林組合の財産処分に関する協議**
／模範造林組合の解散に伴い、財産処分について協議する。

る。

■**公の施設に係る指定管理者の指定**
／中央総合公園の指定管理者に一般社団法人岡崎パブリックサービスを指定する。

■**特定事業の契約の変更**
／南公園整備事業の契約（令和6年3月21日の議決を経て締結）を変更する。

■**物品の取得**
／消防業務用の物品（災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車）の買入れを行う。

補正予算議案

■**一般会計補正予算（第5号）**

○**民生費**
／障がい福祉サービス費、児童手当、私立保育園運営費補助金、私立保育園等施設型給付費など約23億4976万円の増

○**衛生費**
／救急医療体制運営費補助金、子宮頸がん予防接種事業費、病院事業会計負担金など約6億1368万円の増

○**農林業費**
／市産材調達管理基金繰出金など3714万円の増

○**土木費**
／道路整備工事請負費（道路整備事業）、スマートイ

ンターチェンジ整備事業費、岡崎本宿駅西土地区画整理事業費など約8億5454万円の増

■**一般会計補正予算（第6号）**

○**民生費**
／住民税非課税世帯等生活応援金給付事業費に対し約9億6709万円の増

令和6年度12月補正予算

	補正前	補正額	補正後
一般会計	1,465億4,301万円	51億1,545万円	1,516億5,846万円
特別会計	748億5,068万円	11億9,857万円	760億4,926万円
企業会計	659億2,906万円	7億9,966万円	667億2,871万円
合計	2,873億2,275万円	71億1,368万円	2,944億3,643万円

※金額については、表示単位未満を四捨五入しているため、差し引きが一致しない場合があります。

委員会公審査

常任委員会を開催し、付託議案の審査を行いました。主な内容は次のとおりです。

総務企画委員会

消防団条例の一部改正

問 条例改正の概要は。

答 総務省消防庁の通知に基づき、消防団員の処遇改善を図るために、各種消防業務に従事した際に支給している出勤手当を、費用弁償から出勤報酬とし、支給する額を引き上げるものである。

現時点の計画では、災害のために出勤した場合は、1日または1回につき、4時間未満が4千円、4時間以上が8千円、警戒・訓練等の場合は1日に2500円、ポンプ整備の場合は1日に1200円とする予定である。この他に火災予防運動の場合は、新たに広報支出として、1日に1200円を支給する予定である。

福祉病院委員会

和解及び損害賠償の額を定めること

問 今回の医療事故について、今後同じようなことが起きないようにするための対策は。

答 胸部レントゲン写真の異常所見に気が付かなかった点、他の診療科との連携が不十分であった点、退院時にもう一步踏み込んだ具体的な説明ができなかった点が特に問題であると認識している。対策として、まず、令和6年9月から、AIを用いて自動解析する最先端の読影システムを導入し、異常所見の見落としの防止に努めること、また、病状に応じて他の診療科へ積極的にコンサルテーションを行い、内容をカルテに記載することの重要性や、退院時に医師から患者へ丁寧に説明することを、医師を始め病院の全職員に理解してもらうように周知した。今回の事故を深く反省し、再発防止に努める。

文教経済委員会

工事請負の契約（シビックセンター） ―改修工事（週休2日）―

問 改修工事の概要と施設の利用が制限される期間は。

答 開館から22年が経過した施設の天井を現行の建築基準法に適合させるため、6年度から8年度にかけて大規模改修工事を行う。この工事では、必要な範囲で利用を休止する。期間は、1階の図書室と2階・3階の貸室、3階の市民センター体育集会室が7年10月から12月まで、1階から3階のトイレは7年6月から8年1月まで順次、3階のリハーサル室は7年3月から8年7月まで、4階全域及び交流広場は7年1月から8年8月までの期間でそれぞれ利用を休止する予定である。なお、1階のレストラン、2階の岡崎支所、公証役場、司法書士会、土地家屋調査士会は工事による利用の休止は予定していない。

建設環境委員会

水道事業給水条例の一部改正

問 水道料金の改定の理由は。

答 これまででは財政状況の安定を重視して施設や管路の更新を行っていたが、管路では約29億円の更新が積み残しとなり、施設については必要な更新が3分の1にとどまっていることが判明した。今後は、まず管路や施設のあるべき姿を描き、長期的な観点から更新計画を策定して必要となる投資額を試算し、その結果を財政計画に反映させるとい、投資の転換を図ることとした。料金改定率の算定に当たっては、これまでと同様に、今後10年間の安定経営の維持を条件に検討を行い、投資事業を着実に進めながら、安定経営を維持するために必要となる給水収益を試算したところ、現行の料金収入の9・7%に相当する金額の不足が見込まれることから、約20年ぶりとなる料金改定を行う。

本会議において各委員会審査の委員長報告を受け、各党派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。

一般会計補正予算

自明清風会

「市議会だよりと市政だよりの配付及び印刷業務の一本化を進めた結果、全体的な経費節減が実現されるほか、職員の事務負担や各町内会が直接関わる配付時の負担も軽減される。この取り組みは、経費削減と業務効率化の両面で非常に効果的であり、評価する」と意見を述べ、賛成した。

民政クラブ

「ほとんどの樹木が寿命の時期を過ぎている岡崎城公園周辺や乙川、伊賀川の桜を後世に継承していくために、早急に植栽計画や支障となる既存樹木の伐採計画などを検討し、岡崎城公園などで満開となる桜が後世に継承できるように、全力で取り組むことを期待する」と意見を述べ、賛成した。

公明党

「HPVワクチンのキャッチアップ接種について、接種を1回以上していれば、期間終了後も接種を完了できるように経過措置が設けられた。対象者に情報が確実に届くように最後まで丁寧な周知をされたい」と意見を述べ、賛成した。

チャレンジ岡崎

「次世代高度情報通信ネットワークを構築することで、県民・市民の命や財産を危険にさらす比率を大幅に減らすことが大いに期待できるため、力強く推進する必要がある」と意見を述べ、賛成した。

無所属・日本共産党岡崎市議団

「イオンモール岡崎内の市窓口業務を派遣会社へ委託することは、市民の個人情報を直接知りえることになるため民間に委託すべきではない」と意見を述べ、反対した。

無所属・大原昌幸

「経済的に先行きが不透明な中で、議員報酬の期末手当として1人当たり年間4万4732円の増額は市民の理解を得られにくい」と意見を述べ、反対した。

水道事業給水条例の一部改正

自明清風会

「今後も給水収益の減少が見込まれるため、水道料金の改定が必要だが、状況が続くことが予想されるが、市民への急激な負担を避けるため、財政収支の見通しの綿密な検討と市民への丁寧な説明が求められる。また、基本料金の見直しに伴い、口径が75^{mm}以上の使用者の一部では料金改定率が100%を超える場合があるため、当該使用者に対しては十分な対応が必要である」と意見を述べ、賛成した。

民政クラブ

「平成17年4月以来、20年ぶりに水道料金の改定を行うもので9.7%の値上げとなる。人口減少社会でも持続的に安定して事業を運営するため、広域化の促進による重複コスト削減や最新技術の導入による点検等のコスト削減、ダウンサイジングによる施設コストの削減などの取り組みが進められる。命の源でもある水を健全で安定的に供給していく水道事業にされた」と意見を述べ、賛成した。

公明党

「水道管の老朽化対策を進めつつ、持続可能な水道事業を継続していくために、約20年ぶりとなる水道料金の改定は必要なことであると理解する。市民に対しては、料金改定を理解してもらえようように丁寧に説明をし、様々な機会を通して周知をすべきである」と意見を述べ、賛成した。

チャレンジ岡崎

「事業計画、需要予測、財政収支計画、料金水準・体系などを十分に検討しており、各地の地震災害等の状況から、施設や管路の更新等も必要となる。本条例の改正は、今後の適正で長期的な水道施設の更新等や水道事業の健全化に必要である」と意見を述べ、賛成した。

無所属・日本共産党岡崎市議団

「標準的な家庭の使用量である13^{mm}口径で月に20立方メートルの利用の場合、年に2784円の増額になる。物価の高騰や賃金が上がらない中で、暮らしと命に直結する水道料金の値上げは市民の暮らしを圧迫する」と意見を述べ、反対した。

審議結果

12月定例会

件名		採決等の結果	件名		採決等の結果
市長提出議案					
市110	工事請負の契約（シビックセンター改修工事（週休2日））	可決(全員)	市134	令和6年度額田北部診療所特別会計補正予算（第1号）	可決(全員)
市111	模範造林組合の解散に関する協議		市135	令和6年度こども発達医療センター特別会計補正予算（第2号）	
市112	模範造林組合規約の一部変更に関する協議		市136	令和6年度宮崎財産区特別会計補正予算（第1号）	
市113	模範造林組合の財産処分に関する協議		市137	令和6年度形埜財産区特別会計補正予算（第1号）	
市114	公の施設に係る指定管理者の指定（中央総合公園）		市138	令和6年度病院事業会計補正予算（第2号）	
市115	工事請負の契約（中央総合公園野球場受変電設備改修工事）		市139	令和6年度水道事業会計補正予算（第2号）	
市116	特定事業の契約の変更（南公園整備事業）	可決(多数)	市140	令和6年度下水道事業会計補正予算（第1号）	可決(全員)
市117	和解及び損害賠償の額を定めること	可決(全員)	市141	工事請負の契約（岡崎駅西口駅前広場シェルター設置工事（週休2日））	
市118	物品の取得（災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車）		市142	令和6年度一般会計補正予算（第6号）	
市119	手数料条例の一部改正		同8	固定資産評価審査委員会の委員の選任	同意(全員)
市120	職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正	可決(全員)	諮2	人権擁護委員の推薦	異議なし(全員)
市121	職員の退職手当に関する条例の一部改正		請願		
市122	市議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部改正	可決(多数)	請4	市民用通報窓口設置に関すること	不採択
市123	市産材調達管理基金条例の一部改正	可決(全員)	請5	高齢者タクシー利用料金の助成制度を求めること	
市124	駐車施設条例の一部改正	可決(多数)	請6	ノーベル平和賞を受賞した被爆者の願いである、日本政府に核兵器禁止条約への調印・批准を求める意見書の提出	
市125	消防団条例の一部改正	可決(全員)	※採決等の結果が分かれたものの詳細は、議案等の賛否一覧表をご覧ください。		
市126	水道事業給水条例の一部改正	可決(多数)			
市127	学校給食センター条例の一部改正	可決(全員)	陳情		
市128	市費負担教員の給与等の特例に関する条例の一部改正		陳11	私立高校生の父母負担を軽減し、学費負担の公私格差を是正するために岡崎市独自の授業料助成制度の拡充を求めること	
市129	令和6年度一般会計補正予算（第5号）	可決(多数)	陳12	愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出	
市130	令和6年度阿知和地区工業団地造成事業特別会計補正予算（第2号）	可決(全員)	陳13	国の私学助成の拡充に関する意見書の提出	
市131	令和6年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	可決(多数)	陳14	「現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求める意見書」の提出	
市132	令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決(全員)	陳15	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充	
市133	令和6年度介護保険特別会計補正予算（第2号）		※陳情は、市長等の関係機関へ意見を付して送付しています。		

3月定例会予定

3月定例会の
 請願・陳情提出締め切りは、

2月12日(水)
 17時15分

です。

月	火	水	木	金	土	日
2/24	25	26 開会、 市長提案説明、 議案説明	27 代表質問	28 代表質問、 議案質疑、 委員会付託 予算決算委員会	3/1	2
3	4	5	6 予算決算委員会 建設環境分科会 建設環境委員会	7	8	9
議案検討						
10 予算決算委員会 福祉病院分科会 福祉病院委員会	11 予算決算委員会 文教経済分科会 文教経済委員会	12 予算決算委員会 総務企画分科会 総務企画委員会	13	14	15	16
17 予算決算委員会	18 議会運営委員会	19	20	21 委員長報告、 質疑、討論、 採決、閉会	22	23

○各会議の開催時刻は午前10時の予定ですが、予算決算委員会分科会・常任委員会の開催時刻は午前9時30分の予定です。

3月定例会の日程について

上記の議会日程は予定であり、今後変更する場合があります。
 変更する場合は、岡崎市議会ホームページでお知らせいたします。

議会中継について

議会中継は、右の二次元コードからインターネットでご視聴いただけます。



請願と陳情

市政について意見がある時は、請願書や陳情書を市議会に提出することができます。

請願は市議会議員の紹介を必要としますが、陳情の場合はその必要がありません。

市議会では、請願については委員会で審査した後、本会議で採択か不採択を決定し、その結論を請願者へ通知します。採択した請願は、必要と認めた場合、関係機関に処理の結果の報告を求めます。

一方、陳情は委員会で意見を述べるだけで本会議に報告した後、関係機関に意見を付して送付します。また、審査結果を陳情者へ通知します。

請願（陳情）書式例

〇〇〇に関する請願書 (陳情書)	令和 年 月 日
	(宛先) 岡崎市議会議長 ○ ○ ○ ○
	住 所 代表者氏名
	〇〇〇に関する請願(陳情)
(請願書のみ) 紹介議員 岡崎市議会議員 氏名	1 要旨 何々であるので 何々してください
	2 理由



表紙の写真



大河ドラマ放送終了後に実施した意識調査の結果を基に、家康公の生誕日である12月26日に、岡崎公園は岡崎城公園へと名称変更されました。岡崎城公園は、岡崎城を中心とした歴史と文化の公園であり、園内は見所満載です。

会派等の連絡先 ☎

自 民 清 風 会	☎23-6390	
民 政 ク ラ ブ	☎23-6394	
公 明 党	☎23-6396	
チ ャ レ ン ジ 岡 崎	☎23-6364	
無所属	日 本 共 産 党	☎23-6397
	参 政 党	☎23-6524
	無 所 属	☎23-6524
議 会 事 務 局	☎23-6377	

議会の日程、請願・陳情などに関する事項は、議事課
 (☎23-6971・FAX23-6538)までお問い合わせください。